

しがま市議会だより

平成25年 議会報告会 第2号

- 平成 25 年度予算について P1
- 震災復興事業、論点・争点等 P2
- 質疑応答 P3
- 参加者からのアンケート結果 P4

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 TEL 022(364)1214 Aug.2013
ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/shise/shiogamashi/index.html>

参加いただいた市民の皆様



第2回塩竈市議会報告会 エスプ塩竈 100人参加

塩竈市議会は5月12日(日)第2回市議会報告会を開催しました。今回の議会報告会で、当日は100人ほどが参加しました。

塩竈市議会は5月12日(日)第2回市議会報告会を開催しました。今回の議会報告会では「平成25年度予算」「東日本大震災の復興」「2月議会の論点・争点」について報告を行いました。

た。報告に対し、数多くの質問が出されました。司会者から挨拶をかねて市議会の概要報告を行い、市議会議長の挨拶の後、予算特別委員会委員長・同副委員長・産業建設常任委員会委員長が報告を行いました。

塩竈市議会は各会派から8名の実行委員を選出し、7回の実行委員会を開きました。

平成25年度予算について

「報告者」予算特別委員会

委員長 志子田吉晃

一般会計351億8千万円(うち震災復興予算152億3436万円)(特徴) 予算規模は前年度より71億7千万円増加しています。歳入面では自主財源の割合が復興交付金からの繰入れにより、昨年の24%から今年度は42%に増加しました。歳出面では、昨年96億円あった災害廃棄物処理の衛生費が41億円に減り、土木費は災害公営住宅の建設費等で21億円から95億円に大幅増加しています。(定例会審議内容) 初めに、平成24年度の補正予算(議案第1号、11号)が審議され、原案の通り可決しました。続いて(議案第12号、27号までの)条例案と、(28号、40号までの)

予算案が一括提出されました。引き続き、佐藤市長から施政方針が述べられ、これに対して各会派から総括質疑が行われました。

2月26日には、施政方針に対する質問が行われ、税収・子育て・市立病院・子供医療助成や、住宅改修・地域防災計画・水産振興策などについて、また、2月27日には、港湾整備・災害廃棄物・商店街支援・魚市場事業など多方面にわたり質問が行われました。

2月28日から3月4日まで、予算特別委員会が設けられ、平成25年度の一般会計と、企業・特別会計の予算案と関連する条例等の審査を慎重に進め、議案第12号から第40号について原案のとおり可決されました。

委員会での主な意見・要望項目

- ◎ 財源確保策 ◎ 交通安全対策
- ◎ 文化財保護審議会 ◎ 児童虐待・DV防止策 ◎ 保育所運営
- ◎ 認知症高齢者のサポート体制
- ◎ 市立病院経営健全化 ◎ 魚市場の高度衛生管理型・荷捌き所整備事業 ◎ 仮設店舗設置運営事業
- ◎ 観光誘致対策 ◎ 浦戸交通経営健全化 ◎ 漁船誘致・水揚げ量増加策 ◎ 水道事業の経営改革

震災復興事業について

【報告者】産業建設常任委員会

委員長 香取嗣雄

塩竈市議会では、発災後の平成23年4月28日に東日本大震災復興対策調査特別委員会を設置し、8月5日市長に34項目にわたる災害復旧のための提言書を提出しました。

また、宮城県知事・宮城県議会議長、衆議院議長、内閣府副大臣、東日本大震災復興対策大臣に復旧・復興等の要望書を提出し、復旧・復興にあたりました。

震災復興事業については、震災復興計画に基づき「長い間住みなれた土地で、安心した生活をいつまでも送れるように」を基本理念とし復興期間をおおむね10年間として、多くの事業が進められています。

なお、復興交付金事業計画は平成23年度から5年間で、これまで5回の交付金事業が決定され、約300億円の事業が行われる予定です。

市議会としましても、市民の皆様にとって、住まいと暮らしの再建、安全な地域づくり、産業・経済の復興等、予算ができる限り効果的に執行できるように本会議、委員会

質疑、要望等を行なってきました。

震災復興計画は、生活再建を最優先にしながら、地区の特性に応じて現在事業が進められています。

「港町周辺地区」地盤沈下した地区内の道路のかさ上げや側溝の整備、県道の拡幅、またポンプ場施設や貯留施設などの強化による本工事。

「北浜地区」土地区画整理事業の認可による整地造成。

「本塩釜駅前周辺地区」海岸通1・2番地区の再開発に向けて、準備組合が発足し、都市計画決定に向けた話し合い、また事業実施を図るため事業協力を準備組合で公募。

「藤倉地区」土地区画整理事業と合わせた新浜町杉の下線の拡幅整備。「新浜地区」水産加工施設整備等支援事業が採択されました。

「浦戸地区」漁港の浮き桟橋や道路物揚げ場等漁港施設の復旧工事。

「災害公営住宅」市内と市外で被災された方に対するアンケート調査の結果、合計380戸が計画され、伊保石、錦町は平成25年度完成予定。

今後とも復興にあたり、長い道のりを歩んでいくこととなりますが、塩竈の再生と復興を願い、塩竈市議会も市民の皆様とともに一緒に歩んでいきたいと考えています。

論点・争点

【報告者】予算特別委員会

副委員長 浅野敏江

議案第13号 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

例 議案第14号 塩竈市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

反対 平成25年3月まで市長15%、副市長10%、教育長7%給与を削減していた。今回それぞれ10%、5%、5%にするのは、実質増額となるので反対する。

賛成 市長、副市長、教育長は就任以来本来支給されるべき給与を削減し、本市の厳しい財政状況を改善するため市役所一丸で取り組んできている。震災復興のため本年も削減するものであり、賛成する。

▽採決の結果、賛成多数で可決。

議案第28号 平成25年度一般会計予算（351億8千万円）

反対 今予算は行革推進のため、事業の外部委託が市民へのサービス低下や臨時保育士の身分、賃金低下で他の地域に転職、その結果、職員不

足等の影響があるので反対する。

賛成 第5次長期総合計画の推進と大震災からの復興のため、最大規模の予算であり、市民の予防接種・子供医療費助成の拡大や魚市場整備等の早期復興に向けた予算であり、賛成する。

▽採決の結果、賛成多数で可決。

議案第30号 国保会計予算

議案第35号 介護保険会計予算
議案第36号 後期高齢者医療会計予算

反対 東日本大震災で住家等の全半壊等の被災者に継続していた医療費の窓口減免・介護サービス費・後期高齢者医療費減免が打ち切りになるため反対する。

賛成 国保会計の減免に関する市の負担は、国、県の全面財政支援がなければ困難との当局の見解を理解する。介護に関しては国の対応が決め手であり、後期高齢者医療に関しては広域連合と市の緊密な連携の中で適正に判断したものと理解するので賛成する。

▽採決の結果、賛成多数で可決。



報告後の 主な質疑応答

Q 市の財政で44億円不足とされている。そのための財源確保は。

①市職員の給与カットについて。
②市立病院の単年度黒字と市の支出はいくらか。

③議員の定数削減と議員報酬カットは。

A ①第3次行財政改革推進計画で平成22年度から平成26年度の5年間で44億円の財源不足が示されている。平成24年度は市税の増が見込まれるが、人口減少が進む中、厳しい状況である。地方公務員の給与削減は難しいと思うが、議会としてチェックしていく。

②市立病院改革プランに基づき黒字化に努力している。小児科医師が退職したが、その後医師を確保をしている。

③前回定数削減の賛否が問われ協議の結果3名削減となった。議員報酬は平成8年度以降据え置き状況となっている。

Q 市の観光は

A 「社とさかなのまち」として水

産業と仲卸市場の振興を心がけている。平成27年度の完成を目指し魚市場の全面改修も始まっている。

Q 水族館と震災復興状況について

A 水族館は民間事業なので、計画進行状況は把握していない。復興状況は平成23年度解体1821件、24年度167件である。災害公営住宅完成は伊保石地区が平成25年12月、錦町地区が来年4月を予定。清水沢地区は平成27年を目指している。

Q

A 災害廃棄物処理業務委託一覧表の平成23年度、決算にかかる一次仮置場管理業務委託12億8千万円の業者名が公表されていない。

復興災害廃棄物処理業務委託一覧表、平成23年度決算との整合性が無い。

復旧連絡協議会の平成23年度、24年度の委託費21億円と同協議会の解散の理由について・同協議会の36社のどの業者が入っているのか、市民に知る権利がある。

A この件については、市議会に設置する調査特別委員会で調査し議会本会議で報告する。

Q

Q 一般会計衛生費前年比マイナス56・7%削減の理由について伺いたい。

A 衛生費の震災瓦礫処理で平成24年度の瓦礫はおおむね片づいた。

Q

A 議会だより1ページ増と月1回の発行はできないか。

A 予算の都合上限度がある。

Q

A 特別学級は市でどうなっているか。

A 総務教育常任委員会で調査を行う。

Q

A 本塩釜からの街路にヤナギがあった。今後、木の植栽や道路にベンチの設置をお願いしたい。



第2回塩竈市議会報告会



報告会の様子

参加者からのアンケート結果

【内容について】

- ・良くわかった 13人(22・5%)
- ・普通 24人(41・3%)
- ・分りにくい 17人(29・3%)
- ・不明 4人(6・9%)

【時間配分について】

- ・適切だった 31人(53・4%)
- ・長かった 8人(13・8%)
- ・短かった 7人(12・1%)
- ・なし 12人(20・7%)

【参加者の主なご意見】

- ・2回目の報告会ですが、質疑応答に時間をもっと多く取られた方が良いと思う。
- ・復興住宅の建設を急いでもらいたい。また町内会にも連絡が欲しい。
- ・市民の方々の意識が高くなってきている。質問の中身を聞いても関心の高さが伺える。議会としてより以上の説明責任が求められる。こういう機会を増やす必要がある。
- ・参加者が少ない。もっと多くの市民参加を目標として、計画をしてほしい。
- ・質疑応答の件についてたくさんの方に質問をしていただきたいので

一人一問の割合でされてはどうか。

・観光を念頭においた街づくりをお願いしたい。

・質疑応答にもっと時間を取られた方が良いと思う。

・第2回ということでは非常に良い会ですので今後も続けてほしい。

・終了後に個人的な要望意見などのコーナーを設けても良いと思う。

・市議会だよりを月1回の発行にしてはどうか。

・災害復旧連絡協議会の件は最優先に取り組んでほしい。

・小さな問題にも力を入れて取り組んでほしい。

・市町村の合併。

・報告会のTV中継。

・PR不足。

・SNSの活用を。

・頑張ってください。

第2回塩竈市議会報告会



議会報告会終了後

議会報告会担当議員

【挨拶】 嶺岸淳一

【答弁者】

志子田吉晃、浅野敏江、香取嗣雄、阿部かほる、曾我ミヨ

【受付】

伊藤栄一、小野絹子、菊地進、田中徳寿

【場内整理】

鎌田礼二、志賀勝利、小野幸男

【司会】

佐藤英治、伊勢由典

【記録】

西村勝男、高橋卓也

編集後記

第2回市議会報告会への皆様の御参加に心より感謝申し上げます。

この度、当日の議会報告及びご意見・アンケート等の内容について、掲載致しましたので、御一読よろしくお願ひします。お寄せ頂いた御意見は、次回に生かし、更なる議会改革に努めてまいります。

議会報編集委員会

委員長 浅野敏江

市議会報告会実行委員会

委員長 佐藤英治